

どきどき通信 No.7



キクガワくん

Kikugawa City

平成 30 年 6 月発行

下田遺跡の発掘調査

調査速報



菊川市本所の下田遺跡について、平成 30 年 1 月末から 3 月中旬にかけて発掘調査を行いました。

6 世紀に出現した集落跡を発見

六郷地区センター建設予定地内の約 500 m²を発掘しました。水田面から 50cm ほど掘り下げると、西から東へ緩やかに下る地形が現れました。西寄りの比較的高い場所では、溝状の遺構が発見され、古墳時代後期（6 世紀）の土器が多く出土しました。

出土した土器は、土師器（素焼きの硬くない土器）が多く、煮炊きや炊飯に使った甕や甗などもありました。古墳時代後期に出現した須恵器（窯で焼かれた硬い土器）は少数でした。



発掘調査の様子 南から撮影。検出した昔の地形は、東（写真の右手）へ下がっています。西寄り（写真の左半分）では、土器が出土しています。



出土状況 赤い土師器片が出土しています。



出土した土器の破片を接合して復元しています。

西側の丘陵には、6 世紀に出現した横穴墓が分布しています。そして、丘陵を下った場所では、今回の発掘調査によって 6 世紀に集落がつくられたことが判明しました。6 世紀は、物部氏や蘇我氏などが活躍し、渡来人の交流もあった頃になります。

なお、今回の発掘調査では平安時代の後半（11 世紀頃）の遺構と土器も発見されました。

六郷小 6 年生の遺跡発掘体験！

今回の調査地点は、六郷小学校のすぐ南でした。2 月 16 日（金）には、卒業をひかえた 6 年生、およそ 100 名のみなさんが発掘作業を体験しました。実際に発掘調査の道具を使って、遺跡の土を発掘してもらいました。千年以上前の土器片を発見した人もいました。



土器を探しながら慎重に発掘しています！